



学校法人國學院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからは是非ご覧ください。

学報 News CATY

2023年3月

第150号

発行/國學院大學 北海道短期大学部
滝川市文京町3-1-1
TEL.0125-23-4111 FAX.0125-23-5590
広報委員長 佐野 博之

優れた学生活動に学長賞を授与

受賞おめでとうございます



【学長賞】
〇能條祥(幼児・児童教育学科 幼児保育コース2年)
保育士を志し、札幌高等技専の保育士養成科訓練生として入学。他大学や就職した会社での経験や技術を最大限に生かし、幼児保育コースの教育活動のみならず、本学のイベントを積極的にビデオで撮影・編集し、DVDを作成し活用したことなど、職業訓練生としての学びを大きく超える活躍は、本学への多大なる貢献とこれからの学生の模範となることが高く評価されました。



【学長賞】
〇オープンキャンパス年間スタッフ 代表/今野円香(国文学科2年)
本学の教育内容や学生活動の良さを伝えるオープンキャンパスの企画から運営まで、年間を通して活躍が顕著と認められました。また、新たにInstagramの配信などにより、150名を超える参加者となり、本学に多大なる貢献をしました。



洋々たる前途を平和とともに

國學院大學北海道短期大学部 学長 平野 泰樹

卒業生諸君、卒業おめでとうございます。長崎への原爆投下による惨状と重なるものがあります。長引く侵襲による過去の出来事ではないところも、軍事侵襲は1年余を経て収束の兆しが見え、世界のエネルギー価格や食料価格が高騰し、世界経済の停滞も起きています。また危惧される核兵器の使用など、今後のような事態が起きるなど、困難な状況といえます。平和であることが世界や国の繁栄にとっていかに重要か、そして戦争が決して避けられないこと、過去の出来事ではないところも、先が見えない時代ですが、皆さんの前途が平和とともに洋々たるものであることを心より祈ります。

夢を叶えるのは自分の努力次第



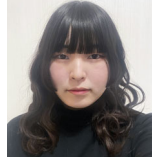
この2年間は長いように短く、2年間で入学しました。新しい人間関係、慣れない環境の中での勉学、何もかもが初めてで、毎日不安だったのを思い出します。しかし、秋山晴先生、佐野博先生をはじめ、国文学科や他学科の先生方のおかげで充実した学生生活を送ることができました。初めの一人暮らしで不安な気持ちで始めた生活から2年が経ち、無事卒業することができました。「語れる2年」という言葉を念頭にスタートした今日までの日々は、多くの出会いと幅広いうちの経験、そして楽しい思い出に溢れています。【就職課程】将来の進路に向けた就職課程の履修は、通常より科目が増え苦勞するところが多くなりましたが、3週間の教育実習が、生徒と触れ合いが、3週間という短い時間で教員免許を取れるという所に惹かれ入学しました。校長先生を経験していただいた先生方から教員としての勉強を、一緒に頑張ろうという気持ちで頑張っています。授業を終えて、一緒に買い物に行ったり、夜の静かな滝川の街を散歩したり、友人と過ごす時間はどれも大切な思い出となりました。2年間で教師になるというのは大変なことです。しかしゼミ生と過ごす時間が増えるに従い、信頼関係が醸成され「人を頼る」という大切さを実感したことは、私の大きな成長の一つになったように思います。

多くの出会いと思い出される2年



【ゼミ活動】ゼミ活動ではイベントへの「参加と行動力」、率先して話し合いでの発言という点について大きな成長を実感することができました。入学前はリーダーなど人の前に立つ際役割分担などをすることができ、仲間と協力して取り組むことができました。このように充実した短大生活を過ごすことができたのは、滝川で出会った仲間や先生方のおかげです。入学後より一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。

目標の教員に合格 多くの支えに感謝



私は高校3年生の時、音楽教師になるための大学を受験し不合格になりました。浪人するかどうかが悩んでいました。その時の担任の先生に、國學院大學北海道短期大学部を勧めました。その結果合格となり、4月から目標であった教師になることができました。

「卒業特集」未来へ力強く抱負

令和5年度國學院大學3年次への編入者が決定しました。國學院大學の5学部11学科へ、118名(推薦)の学生が令和5年4月から東京渋谷キャンパス及び横浜たまプラーザキャンパスで学ぶこととなります。なお、國學院大學以外の4年制大学では、現在駒澤大学2名、国士館大学1名、拓殖大学1名、北海道大学1名、聖徳大学1名、駒沢女子大学1名の編入が決定しています。

学部	学科	推薦者数
文学部	哲学科	14
	史学科	15
	日本文学科	18
	中国語文化学科	18
経済学部	経済学科	12
	経営学科	21
法学部	法律学科	2
神道文化学部	神道文化学科	5
人間開発学部	初等教育学科	5
	健康体育学科	7
合計		118

また、主な就職先は、北海道教育委員会(小学校教諭、中学校教諭)、滝川市役所、芦別市役所、北門信用金庫、北いぶき農業協同組合、(株)芦別スターライトホテル、(株)かんぽ生命保険、砂川市役所(保育士)、赤平市役所(保育士)、(社)滝川市社会福祉事業団、(学)滝川興禅学園、滝川白樺幼稚園、(学)旭川真宗学園幼稚園型認定こども園、大谷さくら幼稚園などです。

本年度で退職の教員からメッセージ



牧野多聞先生

皆さんこそ國學院の宝
このたびは定年退職いたします。昭和57年の開学時から40年の長きにわたり、教職員の皆様にも大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。在職中に度々校長先生から「國學院大學北海道短期大学部」の所属学科も変更があつて、私自身も初めは「国文学科」で入職して、その後「国文学科」から「国文学科」へと変更がございました。昭和57年の開学時から40年の長きにわたり、教職員の皆様にも大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。在職中に度々校長先生から「國學院大學北海道短期大学部」の所属学科も変更があつて、私自身も初めは「国文学科」で入職して、その後「国文学科」から「国文学科」へと変更がございました。



矢口元晴先生

「礼記」の學記篇に「教は人を成す」とある。先生は、学生を育てることに喜びを感じています。教育は国家の未来を担う重要な役割であり、先生は、学生を育てることに喜びを感じています。教育は国家の未来を担う重要な役割であり、先生は、学生を育てることに喜びを感じています。

【ゼミ活動】ゼミ活動ではイベントへの「参加と行動力」、率先して話し合いでの発言という点について大きな成長を実感することができました。入学前はリーダーなど人の前に立つ際役割分担などをすることができ、仲間と協力して取り組むことができました。このように充実した短大生活を過ごすことができたのは、滝川で出会った仲間や先生方のおかげです。入学後より一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。

学生生活思い出し前を向いて頑張る



入学してから2年が経ち、無事卒業することができました。この2年間は長いように短く、2年間で入学しました。新しい人間関係、慣れない環境の中での勉学、何もかもが初めてで、毎日不安だったのを思い出します。しかし、秋山晴先生、佐野博先生をはじめ、国文学科や他学科の先生方のおかげで充実した学生生活を送ることができました。初めの一人暮らしで不安な気持ちで始めた生活から2年が経ち、無事卒業することができました。「語れる2年」という言葉を念頭にスタートした今日までの日々は、多くの出会いと幅広いうちの経験、そして楽しい思い出に溢れています。【就職課程】将来の進路に向けた就職課程の履修は、通常より科目が増え苦勞するところが多くなりましたが、3週間の教育実習が、生徒と触れ合いが、3週間という短い時間で教員免許を取れるという所に惹かれ入学しました。校長先生を経験していただいた先生方から教員としての勉強を、一緒に頑張ろうという気持ちで頑張っています。授業を終えて、一緒に買い物に行ったり、夜の静かな滝川の街を散歩したり、友人と過ごす時間はどれも大切な思い出となりました。2年間で教師になるというのは大変なことです。しかしゼミ生と過ごす時間が増えるに従い、信頼関係が醸成され「人を頼る」という大切さを実感したことは、私の大きな成長の一つになったように思います。

【ゼミ活動】ゼミ活動ではイベントへの「参加と行動力」、率先して話し合いでの発言という点について大きな成長を実感することができました。入学前はリーダーなど人の前に立つ際役割分担などをすることができ、仲間と協力して取り組むことができました。このように充実した短大生活を過ごすことができたのは、滝川で出会った仲間や先生方のおかげです。入学後より一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。

【ゼミ活動】ゼミ活動ではイベントへの「参加と行動力」、率先して話し合いでの発言という点について大きな成長を実感することができました。入学前はリーダーなど人の前に立つ際役割分担などをすることができ、仲間と協力して取り組むことができました。このように充実した短大生活を過ごすことができたのは、滝川で出会った仲間や先生方のおかげです。入学後より一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。

【ゼミ活動】ゼミ活動ではイベントへの「参加と行動力」、率先して話し合いでの発言という点について大きな成長を実感することができました。入学前はリーダーなど人の前に立つ際役割分担などをすることができ、仲間と協力して取り組むことができました。このように充実した短大生活を過ごすことができたのは、滝川で出会った仲間や先生方のおかげです。入学後より一層努力していきたくと考えました。この点について編入後もより一層努力していきたくと考えました。